

# 吉富町緑の基本計画

【 緑の将来像 】



令和 5 年（2023 年） 3 月

吉 富 町



# 吉富町緑の基本計画

## 目次

1. はじめに	1
(1) まちの姿	1
(2) 緑の基本計画とは	2
(3) 吉富の緑	5
(4) まちづくりと緑	13
2. 緑の基本方針	18
(1) 緑の将来像	18
(2) 基本方針	20
(3) モデル・プロジェクト	22
(4) 施策体系	24
3. 緑の施策	25
基本方針1 緑と“活力”	25
基本方針2 緑と“健康”	31
基本方針3 緑と“風景”	34
基本方針4 緑と“協働”	39
4. 計画の進行管理	40
(1) 計画目標	40
(2) 進行管理	40
(3) 今後の取り組み	40
巻末資料	
(1) 策定経過	41
(2) 緑の基本計画策定委員会委員名簿	41



### 町の花「さつき」



町制施行記念の五月にちなんで「さつき」を町の花としています。

公園や家々の庭に咲きほこり、人に親しみと安らぎを与える「さつき」の花は、まさに自然と人々と技とが調和する庶民的な銘花です。

### 町の木「もくせい」



たゆみなく生長・伸展を続ける常緑の木「もくせい」は、一步一步前進する吉富町の姿です。

金色に輝く清楚な花の集まりは、住民相互のうるわしい連帯感と愛情を感じさせます。

# 1. はじめに

## (1) まちの姿

吉富町は福岡県の最東端に位置し、東は一級河川山国川を境に大分県中津市と、西は豊前市、南は築上郡上毛町に接し、北は波静かな周防灘に面する東西1.8km、南北4.0km、面積5.72km<sup>2</sup>と「九州で一番ちいさな町」です。北九州から50km圏内に位置する肥よくな土地の田園の町です。町の北側には周防灘が広がり、底引き網漁やアサリの増殖が行われています。

吉富町が位置する京築地区は、1年を通じて雨が比較的少なく、冬は暖かく、夏は涼しい本当に住みよい町です。

緑の基本計画では、私たちの豊かな暮らしを支える基盤として、吉富町の水と緑を守り育てていく方針を定めます。



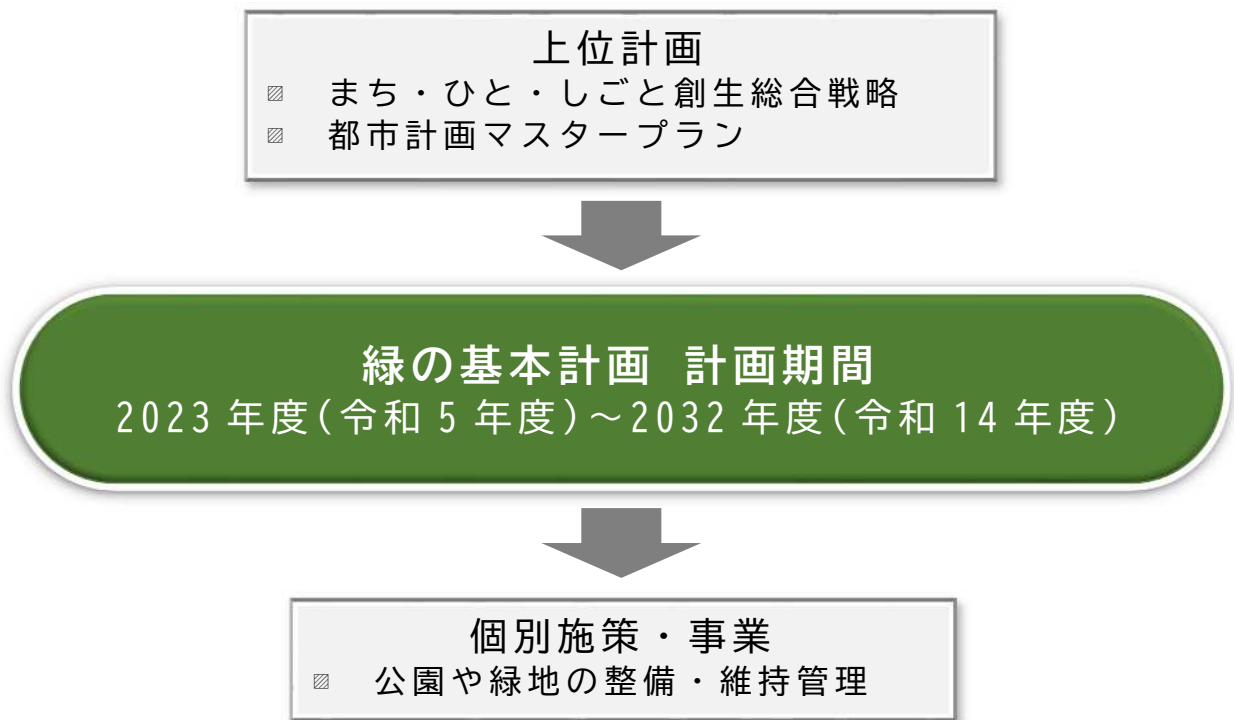
吉富町

## (2) 緑の基本計画とは

### 【計画期間と位置づけ】

緑の基本計画は、吉富町の水と緑のあり方を定めるマスタープランです。都市全体の整備の方向性を定めた「吉富町都市計画マスタープラン」などの上位計画を受けて、今後10年間の緑のあり方を定める基本計画です。

### 計画期間と位置づけ



## 【対象とする緑】

緑の基本計画では、樹木や草花などの植物に加えて、海や川などの水辺、公園や樹林、農地など含めて、幅広い緑を計画の対象とします。



農地・宅地

## 対象とする緑

- 樹木、樹林地（竹林、雑木林、社寺林）
- 農地（水田、畑・茶畑地、果樹園等）
- 海辺・河川、水路、ため池
- 公園、緑地、広場
- 街路樹
- 学校、庁舎の植栽地、グラウンド
- 住宅、工場、事業所の植栽地
- 古墳、遺跡、歴史的文化遺産
- 個人の庭木 など

## 【緑の役割】

緑の役割として、「利用機能」、「存在機能」、「媒体機能」といった機能があります。

「利用機能」として、遊びやスポーツ、憩いなどレクリエーションの場として、わたしたちの生活を豊かにしています。また「存在機能」として、防災や環境保全、景観形成などに重要な役割を果たしています。近年は、「媒体機能」として、観光・産業、健康・福祉、教育・保育、歴史・文化といった、まちづくり全般に緑を幅広く活用していく視点も求められるようになっていきます。

## 緑の役割

### ・ 利用機能

#### レクリエーション

・ 遊び、スポーツ、憩い

### ・ 存在機能

#### 防 災

・ 避難場所、延焼防止

#### 環境保全

・ 気温調節、防風・防音

#### 景観形成

・ 街並み、家並み、風景

### ・ 媒体機能

#### 観光・産業

・ 観光振興、商業振興

#### 健康・福祉

・ 健康づくり、生きがい

#### 教育・保育

・ 学習、発見、成長

#### 歴史・文化

・ 歴史・文化資産の継承



### (3) 吉富の緑

#### 【緑の概況】

吉富町全体の緑の概況について整理します。

(令和3年度都市計画基礎調査(令和3年4月1日現在))

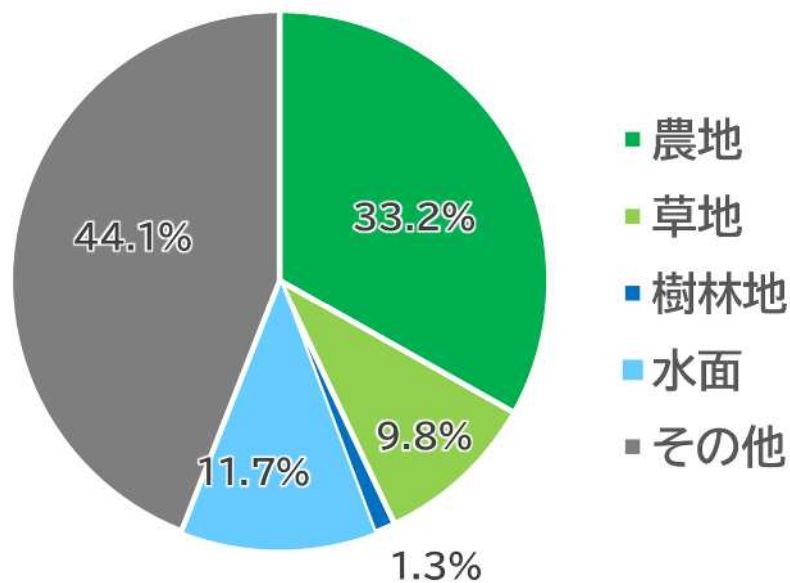
地表面が植物で覆われている土地を、緑被地と言います。

吉富町では、農地189.8ha(田と畑の合計)、草地56.1ha、樹林地7.4haであり、緑被地の合計は253.3haとなっています。

緑被地面積253.3haと水面面積66.7haを合計すると320.0haとなり、これは吉富町全域の面積5.72km<sup>2</sup>の55.9%に相当します。

このように、吉富町は水と緑に恵まれたまちです。

緑地の状況



### 【都市公園等の整備状況】

吉富町には、都市公園として近隣公園、街区公園、都市緑地があり、都市公園以外の身近な遊び場所として児童遊園があります。

ここから児童遊園を除いた都市公園等（近隣公園、街区公園、都市緑地）の合計は32.7ha になります。吉富町の人口6,627人（令和2年国勢調査値）であることから、住民1人あたりの公園面積は49.3m<sup>2</sup>/人となり、全国平均10.7m<sup>2</sup>/人、福岡県平均9.1m<sup>2</sup>/人（令和2年度末）、を大きく上回っています。

遊具等の公園施設の中には老朽化が進んでいるものもありますが、必要な維持管理など、限られた財源で効果的に対応しています。

### 都市公園等一覧表

種別	名称	面積(m <sup>2</sup> )
①近隣公園	天仲寺公園	26,932
	鈴熊山公園	17,010
②街区公園	古表史跡公園	13,021
	水と光のスペース21	1,934
	玄光院ふれあい公園	1,873
	佐井川清流公園	2,113
③都市緑地	山国川緑地	264,000
都市公園等合計(①+②+③)		326,883
児童遊園	高浜児童遊園	870
	古表児童遊園	1,950
	楡生児童遊園	2,038
	直江児童遊園	823
	土屋児童遊園	1,159
	今吉児童遊園	707

## 【子どもの遊び場】

町内には天仲寺公園や鈴熊山公園をはじめ、子どもの遊び場として13箇所公園が設置されています。



鈴熊山公園(どんぐり広場)



天仲寺公園

## 【スポーツ】

「吉富漁港総合グラウンド」は平成 15 年8月に開設され、多目的運動広場として様々なスポーツで使用されています。

運動施設として、公式サッカーコート 1 面、少年サッカーグラウンド 2 面、野球コート 1 面、約 500mのジョギングロードがあり、夜間照明も完備しています。

また、住民参加のイベントでは、吉富町スポーツ協会による「スポーツフェスタ・よしとみ」を毎年開催しており、野球、ゴルフ、卓球、バドミントンの4つの大会を行っています。そのほかにも、「よしとみウォーク」を開催しており、町外からも多くの参加者が訪れます。



吉富漁港総合グラウンド



よしとみウォーク

### 【レクリエーション】

山国川の河川敷に「山国川緑地」が整備されており、専用のローラースケート場があります。

吉富町では、健康づくりや子育て世代、若者が魅力を感じるような都市公園等が不足しているため、「山国川緑地」等を、レクリエーションの拠点として、最大限に活用していくことが求められます。



山国川緑地

## 【樹林】

「ふくおか森林浴百選」に選ばれる鈴熊山公園には、山頂付近の松林、周辺の竹林・雑木林など多くの自然が残されています。

そのため、癒しの時間を過ごすことができる憩いのオアシスとして、多くの住民たちに親しまれています。

これらの深く美しい緑に囲まれた、自然とのふれあいを楽しめる遊歩道や展望広場、子ども向けの遊具のある「どんぐり広場」が整備されています。鈴熊山公園は、ウォーキングコースとしても人気があります。



鈴熊山公園

### 【水と緑と鉄道のある風景】

吉富町には、鉄道のある風景を堪能できる撮影ポイントが数多くあります。その中には、山国川や田園を背景に、レンガ橋や鉄橋を電車が走り抜ける風景もあり、水や緑と一体となった鉄道撮影スポットとして人気があります。



日豊本線 山国川橋梁



田園と鉄道

## 【ボランティア活動】

よしみレディースお花づくり部は、吉富駅前道路ロータリー花壇での美化管理ボランティア活動の功績が顕著であるとして、国土交通大臣表彰を受賞しました。御山会は、ふくおか地域づくり活動賞を受賞しています。そのほか様々なボランティア団体が、それぞれの目的に応じた地域活動を行うなど、熱心に取り組んでいます。



吉富駅前の花壇



御山会の活動



## (4) まちづくりと緑

### ① 吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第2期吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年9月)には、4つの基本目標が示されており、まちづくりの幅広い課題解決への取り組みを示しています。

緑の基本計画では、これら多岐にわたるまちづくりの課題解決に向けて、緑の側面から貢献していくものとします。

### 第2期吉富町まち・ひと・しごと創生総合戦略 “4つの基本目標”に貢献する“緑”

基本目標1 新しいひとの流れの創出

“自然環境の保全” と “緑”  
“インフラ整備” と “緑”

基本目標 2 継続した 子育て全力応援 のまちづくり

“子育て、福祉” と “緑”

基本目標 3 安定したしごとづくり

“産業、地域活性化” と “緑”

基本目標 4 暮らし続けることのできるまちづくり

“健康寿命の延伸” と “緑”  
“住民参加、協働” と “緑”



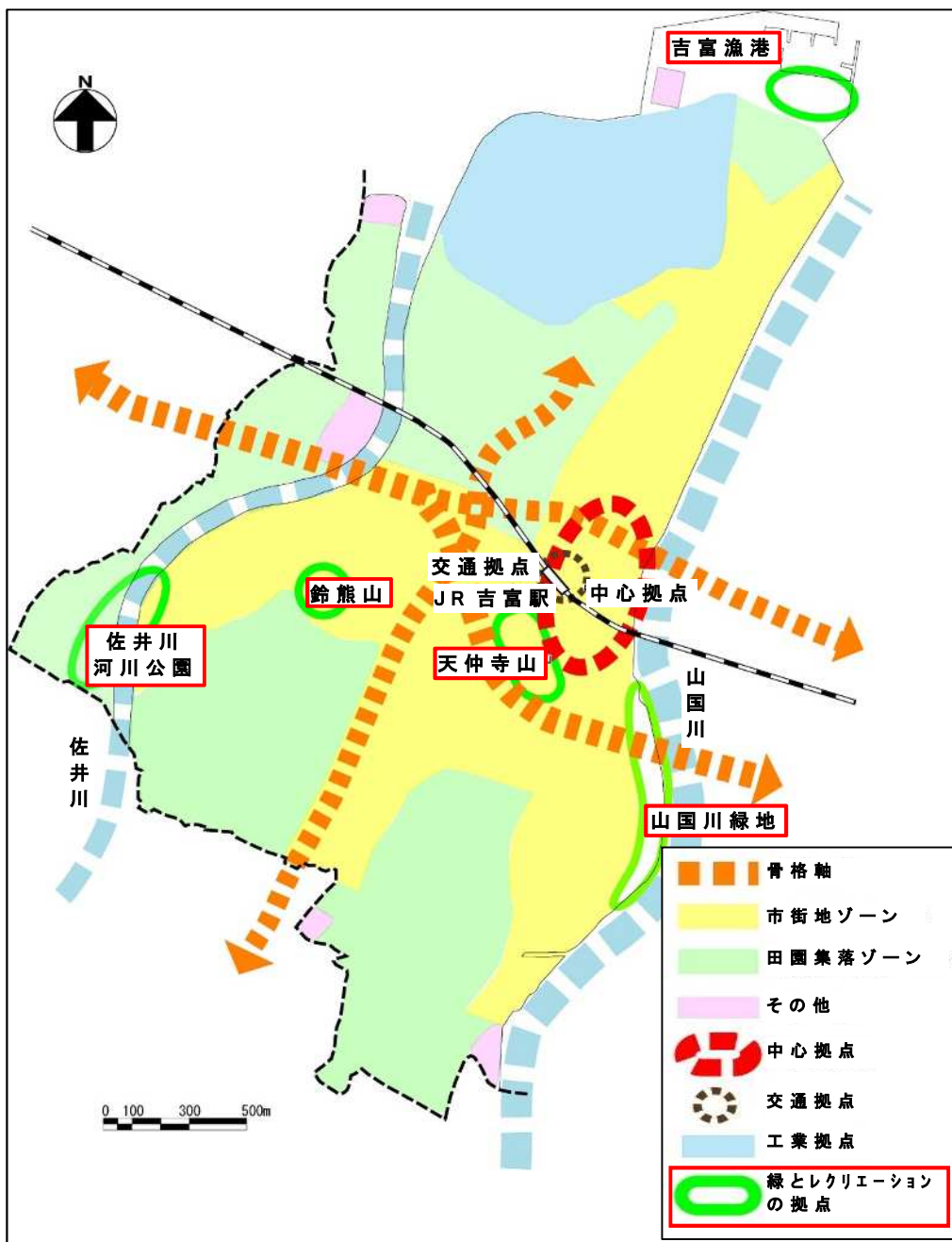
### 緑の基本計画

緑を活かして、まちづくりの課題解決に貢献する

② 吉富町都市計画マスタープラン

吉富町都市計画マスタープラン(平成 21 年 3 月)では、以下のよ  
うに公園緑地を中心とする緑のあり方が示されており、本計画を通じ  
て具体化していくことが求められます。

【都市の将来像】



## 【土地利用の方針】

### ■ 農地

- 優良農地の積極的な保全を図るとともに、農地の集約化と生産基盤の整備を推進し、地産地消を目指した農業生産を促進します。
- 兼業農家や高齢農家などを包括する地域ぐるみの営農体制の確立を図り、中核的農家の規模拡大のための農用地の流動化を促進し、農地の集約により農業生産性の向上に努めます。

### ■ レジャー・レクリエーション地

- 吉富海岸、山国川河川敷、佐井川沿いの緑地や鈴熊山および天仲寺山周辺は、自然環境や景観の保全に配慮しつつレジャーやレクリエーションの場として活用します。

### ■ 水面、その他自然地

- 山国川・佐井川沿いの緑地は、本町の貴重な自然・景観要素であるため、治水機能の整備を促進するとともに、住民や来訪者にとって憩いの空間となるような親水性の高い整備を推進します。
- 山国川総合グラウンドおよび周辺の河川敷は、親水空間の形成を促進するとともに、住民に親しまれる憩いとやすらぎの場として、住民・行政が一体となって維持管理していきます。

## 【都市施設整備の方針】

### ■ 公園・緑地

- 鈴熊山公園および天仲寺公園を公園・緑地の核として位置づけ、町内に点在する小公園や緑地等とのネットワーク化を図り、都市と緑が一体化した特色ある都市環境の形成を図ります。
- 山国川総合グラウンド、吉富漁港総合グラウンドを住民の屋外スポーツ活動、レクリエーションの拠点として位置づけ、憩いの空間、周辺における散策路など関連機能整備、修景を図ります。
- 佐井川沿いの緑地は、住民の憩いの場としての遊歩道やレクリエーション施設等の整備を図ります。

### ③ アンケート調査結果

第4次吉富町総合計画の策定にあたって、住民の意識を把握するため、平成30年にアンケート調査を実施しています。

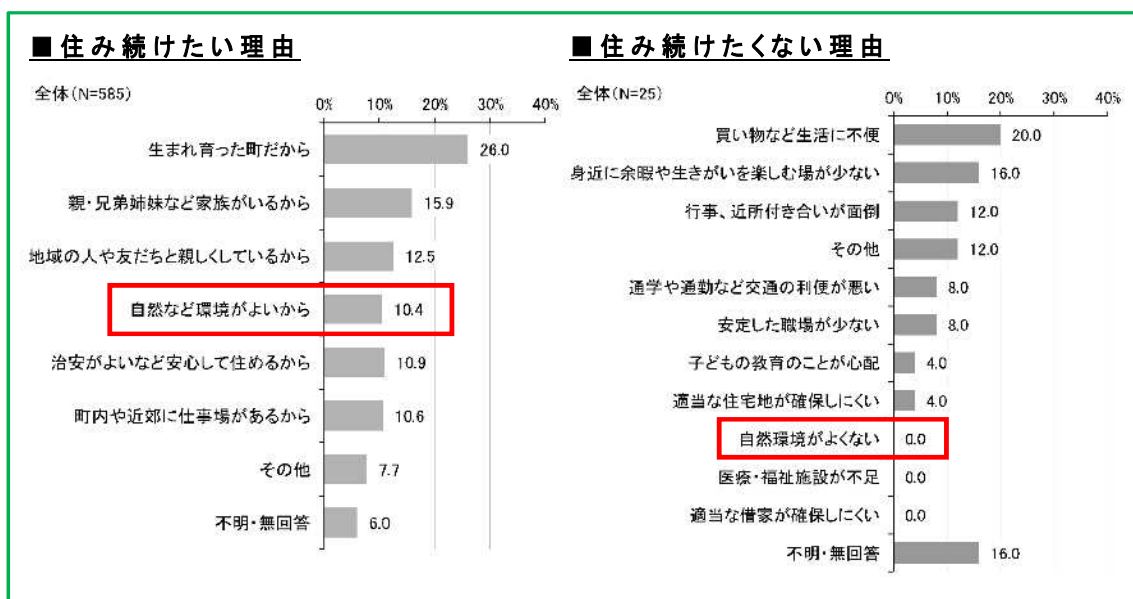
緑の基本計画の方針検討に向けて、このアンケート調査結果に対して緑の観点から分析を加えた結果を、以下に示します。

#### ■ 実施概要

調査対象者	・町内在住の15歳以上の住民
抽出方法	・無作為抽出
調査期間	・平成30年12月12～25日
調査方法	・郵送配布、郵送回収

#### ■ 配布・回収結果

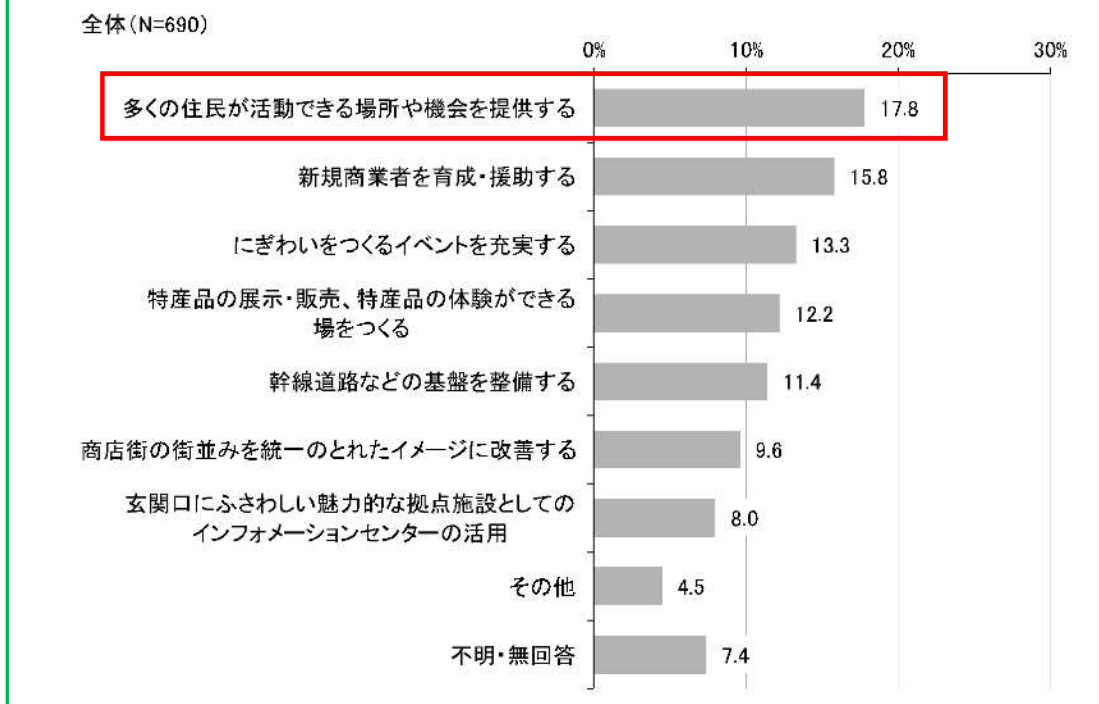
配布数	・2,000件
回収数	・692件
有効回答数	・690件
有効回答率	・34.5%



#### ■ 住みたい理由と緑

- ・住みたい理由として、「自然など環境が良いから」という回答が10.4%で得られたのに対して、住みたくない理由として、「自然環境が良くない」という回答は0%であり、自然などの環境の良さが高く評価されています。
- ・現在の住民に、これからも住み続けていただくためには、現在の自然環境を守り、維持していくことが求められます。

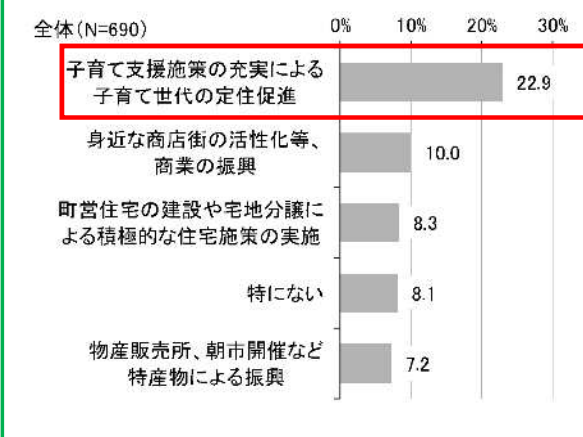
■ にぎわいのあるまちづくりのため、今後、どのような施策が重要だと思うか



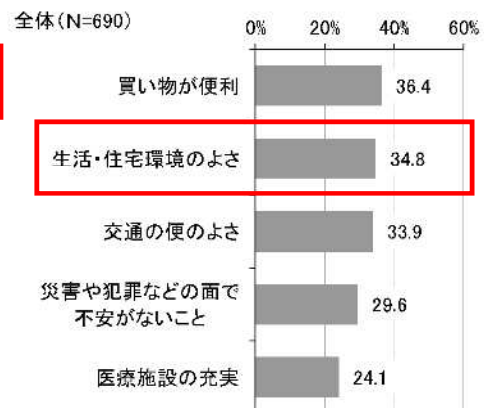
■ にぎわいのあるまちづくりと緑

- ・にぎわいのあるまちづくりには、「多くの住民が活動できる場所や機会を提供する」という回答が17.8%と最も多くなっています。
- ・吉富町でにぎわいを生み出すため、公園や広場を活用して、多くの住民が活動できる場所や機会を増やし、広く住民の賛同と参加を得ていく取り組みが有効とされます。

■ 町の活性化のために今後どのようなことに力を入れるべきか(上位5位のみを抜粋)



■ 住むべき場所を選ぶ場合に重視すること(上位5位のみを抜粋)



■ 町の活性化と緑

- ・今後力を入れるべき内容として、「子育て支援施策の充実による子育て世代の定住促進」という回答が22.9%と最も多くなっています。
- ・住むべき場所を選ぶ際に、「生活・住宅環境のよさ」という回答も34.8%と多くなっています。
- ・子育て世代の定住を促し、生活・住宅環境の魅力を高める公園・広場の整備や緑の魅力を高めていくことが求められます。

## 2. 緑の基本方針

### (1) 緑の将来像

人口減少・少子高齢社会が進行していく中、健康で長生きする「健康寿命」を伸ばすため、これからは緑をまちづくりに積極的に活用していくことが求められます。

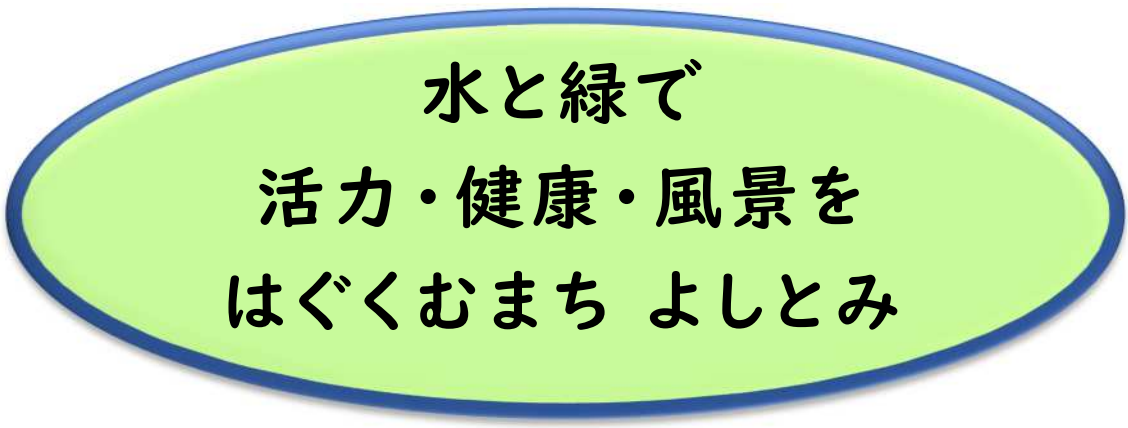
まず、緑で吉富町に“活力”を与えます。広域でのサイクリングをはじめ、緑を活用した観光・交流・活性化を進めます。

そして、緑で吉富町を“健康”にします。子育てを支えて、充実させる緑、高齢者の健康づくりに役立つ緑とします。

さらに、吉富町の緑がある“風景”を守ります。浜辺や川辺には緑が広がり、農地と調和している風景を吉富町の基盤として守り続けます。

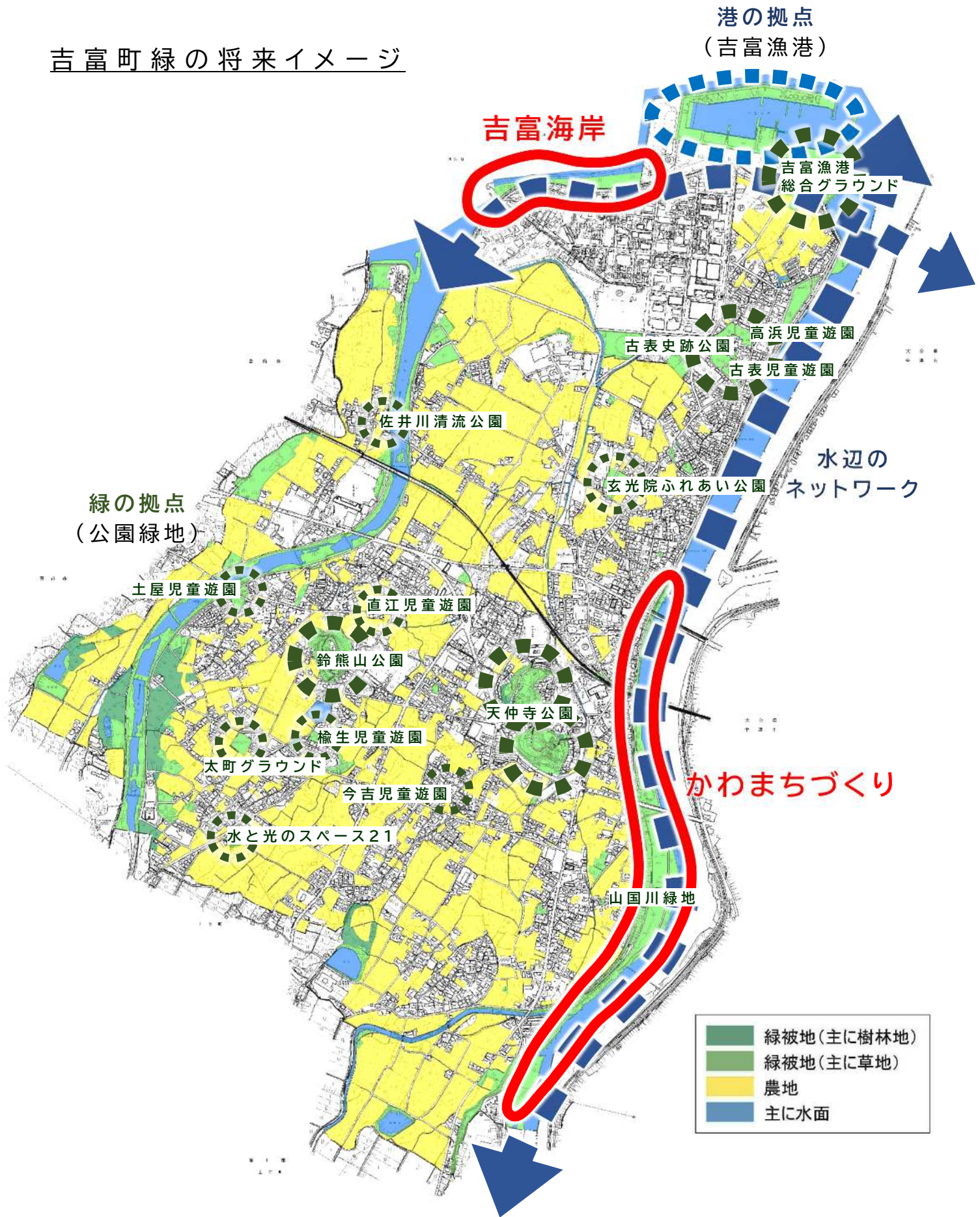
このような吉富町の水と緑を活かしたまちづくりの取り組みを、行政と住民の協働を通じて、育んでいきます。

#### 【緑の将来像】



水と緑で  
活力・健康・風景を  
はぐくむまち よしとみ

# 吉富町緑の将来イメージ



## (2) 基本方針

緑の将来像の実現に向けて、吉富町として取り組む上での基本的な考え方を、基本方針として次のように定めます。

【SDGsとの関連】

### 基本方針 1

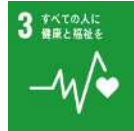
### 緑と“活力”



- ・緑を活かした観光や交流の活発化と必要な整備に取り組む
- ・公園の老朽化対策やリニューアル、適正な維持管理や運営に取り組む
- ・緑とのふれあいを育み、緑を活かした防災・減災に取り組む

### 基本方針 2

### 緑と“健康”



- ・住民の憩いの場として、レクリエーション施設等の整備を図る
- ・子育ての魅力を高めるため、子どもや未就学児の遊び場を確保する
- ・高齢者の健康づくりとして、散策のネットワークづくりなどを進める

### 基本方針 3

### 緑と“風景”



- ・水と緑と鉄道が融合した風景など、魅力ある風景づくりに取り組む
- ・吉富の風景の基盤となる農地や樹林の土地利用を保全する
- ・吉富海岸のアサリや農地やため池などでの生物多様性を保全する

### 基本方針 4

### 緑と“協働”



- ・町内のボランティア団体などに、緑を守り活かす住民活動を継続的に支援していく
- ・住民と行政の協働を通じて、緑を守り活かす活動を広めていく



## 【SDGs】

SDGsとは、「持続可能な開発目標」の略称です。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択され、国連加盟193カ国が2030年までに達成を目指す国際目標です。

緑の基本計画に位置付けた基本方針に基づいて、吉富町はSDGsにも貢献していきます。

### SDGsに設定されている17のゴール



### (3) モデル・プロジェクト

緑の将来像の実現に向けて、吉富町では水辺の魅力を高めていきます。水辺の魅力を高めるために優先的に取り組むモデル・プロジェクトを、以下のように定めます。

#### ① かわまちづくり

一級河川山国川の河川敷に位置する山国川緑地は、昭和58年から継続的に整備が進められてきました。

現在、福岡県吉富町、上毛町、大分県中津市の1市2町で「山国川下流域地区かわまちづくり」を進めており、親水性を考慮した水辺整備やまちなかの観光拠点をつなぐサイクリングネットワークを充実させることで、親水性・回遊性を高める広域的なまちづくりを進めていく方向です。

このような計画の実現に向けて、緑の基本計画を象徴するモデル・プロジェクトとして山国川緑地の整備に取り組みます。



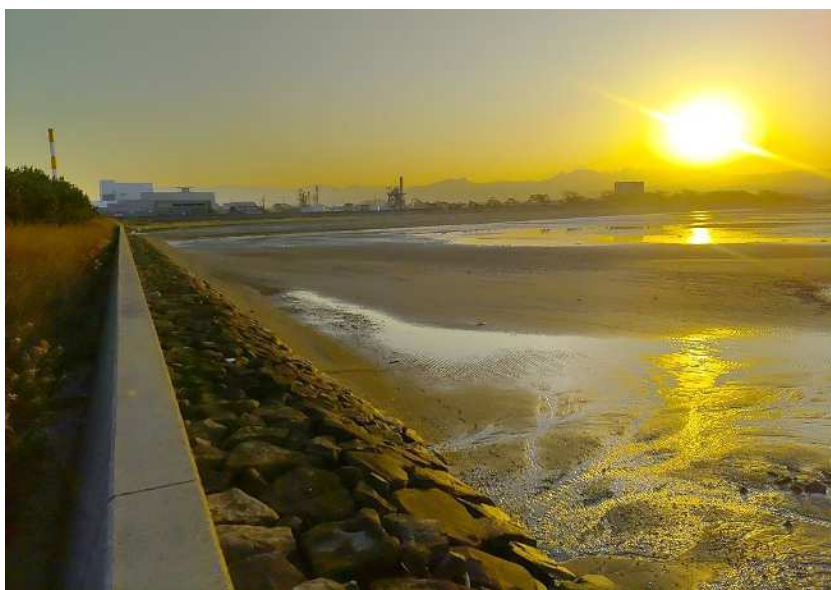
## ② 吉富海岸

吉富町は、吉富海岸の景観を向上させて、地域の魅力を高めていく整備を進めています。現在、住民有志による吉富海岸の清掃活動も行われています。

親水階段や遊歩道、駐車スペースの整備を通じて、海岸付近を散策できる整備を進め、住民への癒しや健康づくり、景観スポットとするモデル・プロジェクトとして具体化し、水と緑のネットワークを充実させます。



海岸清掃の様子



吉富海岸

## (4) 施策体系

将来像の実現に向けて取り組みを進める、施策の体系を示します。

### 基本方針 1

## 緑と“活力”

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| (1) 観光・交流  | ・観光・交流拠点となる緑地の整備・活用  |
| (2) 公園再生   | ・既存公園等の適正管理とリニューアル検討 |
| (3) 公園管理運営 | ・公園施設の適正管理と運営        |
| (4) 学習・教育  | ・緑を活かした生涯学習、環境教育     |
| (5) 防災・減災  | ・緑の防災・減災機能の発揮        |

### 基本方針 2

## 緑と“健康”

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| (1) 健康づくり | ・緑の中を歩く・走るルートづくりと健康促進  |
| (2) 子育て支援 | ・子どもの遊び場、子育て世代のための緑の向上 |
| (3) 高齢者福祉 | ・高齢者福祉等への緑の活用          |

### 基本方針 3

## 緑と“風景”

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| (1) 景観づくり | ・景観・風景を活かしたまちづくり    |
| (2) 農地の保全 | ・農地の保全              |
| (3) 樹林の保全 | ・樹林の保全              |
| (4) 生物多様性 | ・希少な動植物の保全・生物多様性の保全 |
| (5) 緑化推進  | ・公共施設や住宅等の緑化促進      |

### 基本方針 4

## 緑と“協働”

- |          |                 |
|----------|-----------------|
| (1) 住民協働 | ・協働による緑化・維持管理活動 |
|----------|-----------------|

## 3. 緑の施策

### 基本方針 1

### 緑と“活力”

#### (1) 観光・交流

##### □ 現況

##### 〈 交流・活動の場としての公園・緑地の利用 〉

- 町内にある多くの公園・緑地は、住民の方の交流・活動の場となっています。
- 子育て世代や高齢者の公園利用率は高くない状況です。
- 吉富町を訪れる観光客に向けて、観光資源を彩る緑の魅力を高めていくことが求められます。

##### □ 施策

##### 〈 山国川緑地の周辺整備と利活用 〉

- 「かわまちづくり事業」として、山国川緑地の周辺整備を進め、町内各種団体とワークショップを実施しながら、新たな交流・イベントの拠点として積極的に活用します。
- 「山国川下流域かわまちづくり」として、周辺市町と連携を図りながら、広域での水と緑のまちづくりを進めていきます。
- 山国川緑地の利用方法について、適正な利活用ができるように検討していきます。

##### 〈 吉富海岸の周辺整備と利活用 〉

- 「吉富海岸の整備」として、住民有志による吉富海岸の清掃活動を継続しつつ、吉富海岸の周辺整備を進め、住民の癒しや健康づくり、景観スポットとしての活用を検討します。

## 〈 緑のネットワーク形成 〉

- 山国川緑地を中心とする「かわまちづくり」を吉富町における緑の拠点と位置づけた上で整備を行い、「吉富海岸」もあわせて整備を行うことで、水辺のネットワークを形成し、吉富町の水と緑の骨格を形成します。
- 鈴熊山公園および天仲寺公園を公園・緑地の核として位置づけ、町内に点在する小公園や緑地等とのネットワーク化を図り、都市と緑が一体化した特色ある都市環境の形成を図ります。



山国川緑地  
スカイランタンイベント

## (2) 公園再生

---

### □ 現 況

#### 〈 公園整備の現状 〉

- 住民 1 人あたりの公園面積は福岡県や全国平均を上回っています。
- 今後の維持管理のあり方について検討が求められています。

#### 〈 公園施設の老朽化 〉

- 遊具をはじめとする公園施設が老朽化しているものもあります。遊具についての点検を、毎年行っています。

### □ 施 策

#### 〈 公園施設の適切な維持管理 〉

- 老朽化が進む公園施設について、計画的な維持管理、更新整備を検討していきます。
- 公園トイレの水洗化に取り組んでいきます。

#### 〈 遊具の安全性の確保、修繕 〉

- 公園施設の中でも、特に遊具は使用頻度が高い施設であり、十分な安全を確保するため、今後も引き続き、定期的な点検と計画的な修繕などを行っていきます。

#### 〈 地区ごとの公園整備・活用方針の検討 〉

- 地区ごとの公園整備の必要性や有効活用について、検討を行います。
- 公園の統廃合等についても、必要に応じて検討していきます。

### (3) 公園管理運営

---

#### □ 現 況

##### 〈 公園施設の維持管理 〉

- 健康づくりや地域の交流の場として気持ちよく活用できるよう、維持管理を継続する必要があります。

##### 〈 民間活力導入の現状 〉

- 公園の管理について、各自治会などに維持管理をお願いしています。
- 公園・緑地の整備や管理・運営に対して、民間企業の活力を導入する事例はまだありません。

#### □ 施 策

##### 〈 公園の適正管理 〉

- 誰もが安全で快適に公園を利用できるように、公園の広場や樹木等は、立地状況に応じて、適切な維持管理に努めます。
- 持続可能な公園管理体制とするため、地元住民の意向を聞きながら、必要な支援策の検討を進めていきます。

##### 〈 公園への民間活力の導入 〉

- 公園の整備や管理運営に民間活力を導入する仕組みについて、調査・研究を進めていきます。



## (4) 学習・教育

---

### □ 現 況

#### 〈 緑とのふれ合い 〉

- 「緑」とのふれ合いは、世代間のつながりを生み出すだけでなく、柔軟で多彩な活用と「緑」の保全意識を育み、将来に継承することにつながります。

### □ 施 策

#### 〈 緑とふれあう環境教育 〉

- 「緑」に関する正しい知識を学ぶだけでなく、自然とふれ合う“体験”を教育に活かした活動として展開するとともに、時代に応じた新しい媒体を取り入れた運営・情報発信など、それぞれの強みを活かした教育活動の展開を図ります。

#### 〈 環境学習や環境保全の啓発活動 〉

- 海岸・河川やため池を守るための啓発活動や、小学生に対する環境学習を推進し、環境保全意識の早期形成に取り組みます。
- 子どもに向けた環境教育として、ボランティア活動への参加など、具体的な取り組みについて検討を進めていきます。

## (5) 防災・減災

---

### □ 現 況

#### 〈 緑の防災・減災機能 〉

- 局地的な集中豪雨や巨大地震など、多発する自然災害に対して、公園や農地、森林など、植物の力を活かして自然災害による被害を軽減する「グリーンインフラ」の要素として、緑を保全していく必要があります。
- 街路樹などの緑による延焼防止、避難所としての公園・緑地の利用、農地や森林から雨水を地下に浸透させる機能など、緑を防災・減災に活用するためにも、適正な整備と維持管理が不可欠です。

### □ 施 策

#### 〈 公園の防災機能の向上 〉

- 公園における避難場所、火災の延焼防止、復旧の活動拠点、仮設住宅地等の多様な防災機能を向上させ、災害時に活用できる公園整備について検討を進めます。
- 居住地ごとの避難場所を明確化したり、食料や水の備蓄を検討したりするなど、地域防災計画と調整を図りながら、公園の防災機能向上に向けて、検討を進めていきます。

#### 〈 農地や森林の保全 〉

- 農地や森林を保全し、適正な維持管理を継続することで、雨水を地下に浸透させる機能を維持します。

## (1) 健康づくり

---

### □ 現 況

#### 〈 緑と健康づくり 〉

- 少子高齢化社会が進むなかで、健康で長生きする「健康寿命」を伸ばすため、散歩やウォーキング、ジョギングやサイクリングといった健康づくりに「緑」をさらに活用していくことが求められます。

### □ 施 策

#### 〈 レクリエーションや憩いの場整備 〉

- 山国川緑地、吉富海岸をはじめ、佐井川沿いの緑地や鈴熊山および天仲寺山周辺は、自然環境や景観の保全に配慮しつつ、住民の憩いの場、レジャーやレクリエーションの場として、遊歩道やレクリエーション施設等の整備を図り、積極的に活用していきます。

#### 〈 散策ネットワークの整備 〉

- 散歩やウォーキング、ジョギングやサイクリングといった健康づくりを幅広い世代で進めるため、広く吉富町全域での散策路のルートづくりや必要な整備・修景について検討していきます。

## (2) 子育て支援

---

### □ 現 況

#### 〈 緑と子育て環境 〉

- 公園での遊具の点検を毎年行っており、必要に応じて整備をしています。
- 子育て環境の魅力を高め、子どもの健全育成に向けて、公園等の遊具の更新整備に加えて、緑を活かした安全・安心な子どもの遊び場等を整備・確保していく必要があります。

### □ 施 策

#### 〈 子育て環境の魅力化 〉

- 子どもにとって安全で魅力的な遊び場となり、子育て世代に対する吉富町の魅力を高められるよう、児童遊園・公園等の適正管理に努めます。

### (3) 高齢者福祉

---

#### □ 現 況

##### 〈 高齢者福祉と緑 〉

- 高齢者をはじめ、障がい者を含めた地域参加や生きがいづくり、交流の機会の創出に向けて、緑を活用していく必要があります。

#### □ 施 策

##### 〈 公園のバリアフリー化などの環境づくり 〉

- 道路や公園等におけるバリアフリー化をはじめ、福祉施設においても、既存施設の整備・充実を図るものとし、高齢者や障がい者をはじめとする全住民が利用しやすい環境づくりに努めます。
- 公園を、高齢者の日常的な健康づくりに利用できる場となるよう、ソフト・ハードの両面から検討を進めていきます。

##### 〈 高齢者の健康づくりのための散策ネットワークの整備 〉

- 公園等を起点として、吉富町内の散策ネットワークのルートづくりや必要な整備等を通じて、高齢者の健康づくりと健康寿命の延伸に貢献します。

## (1) 景観づくり

### □ 現況

#### 〈 吉富町の魅力を伝える風景の発掘 〉

- 吉富町には水や緑と一体となった鉄道撮影スポットが数多くあり、魅力ある風景をさらに発掘して、守っていく必要があります。
- 吉富町の景観の基盤となる農地の土地利用を保全し、農村景観と調和した家並み・まちなみの保全に努める必要があります。

### □ 施策

#### 〈 水と緑のある魅力ある風景づくり 〉

- 鉄道撮影スポットをはじめ、水と緑と一体となった吉富町らしい魅力をさらに発掘し、その構成要素となる水と緑を適正に管理することで、魅力ある風景づくりを進めていきます。

#### 〈 田園や自然景観との調和 〉

- 農地と調和したまちに向けて、周辺の田園や自然景観との調和に配慮し、良質な市街地の景観形成に努めます。

## (2) 農地の保全

---

### □ 現 況

#### 〈 農地・農業の現状 〉

- 農業従事者の高齢化や後継者不足などにより、農業就業人口や農家数、経営耕地面積のいずれもが減少傾向にあります。
- 用途地域外などで農地転用が多く、各所で開発が進んでいます。
- 農地の中には耕作放棄地もあり、優良な農地とあわせて、農地の保全に努める必要があります。

### □ 施 策

#### 〈 農地の保全 〉

- 優良な農地をはじめ、耕作放棄地もあわせて保全していきます。

#### 〈 農業生産の維持・拡大 〉

- 農業生産の維持・拡大のために、農地の有効活用と、農作業の効率化を推進することで、農業生産の維持・拡大を図るとともに、持続可能な営農体制を確立するため、営農組織や新規就農者の確保・育成を図ります。

#### 〈 農地の集約化と生産性の向上 〉

- 優良農地の積極的な保全を図るとともに、農地の集約化による生産性の向上や地産地消を目指した農業生産を促進します。

### (3) 樹林の保全

---

#### □ 現 況

##### 〈 樹林の現状 〉

- 本町の樹林は約7.4haであり、町全域の2%に満たない規模ですが、住民にやすらぎと潤いを与える緑となっており、吉富町の貴重な資源・財産となっています。

#### □ 施 策

##### 〈 歴史的な風景の保全・復元および創出 〉

- ふくおか森林浴百選に選ばれた鈴熊山公園をはじめ、松林、干潟、砂浜などの歴史的な風景の保全・復元および創出を図ります。

##### 〈 樹林等の保全 〉

- 樹林などの自然地は本町にとって貴重な財産であり、住民にやすらぎと潤いを与える資源であることから、今後も保全に努めるとともに有効な活用策を検討していきます。



## (4) 生物多様性

---

### □ 現 況

#### 〈 吉富町の動植物 〉

- 吉富海岸にある河口の干潟には、天然記念物のカブトガニ、天然あさり、絶滅が危惧されるアオギスなどが生息しており、全国でも希少性の高い地域です。
- 吉富町の面積のうち、55.9%は農地や水面などの緑や水に覆われており、多様な動植物の生息・生育環境となっています。

### □ 施 策

#### 〈 生物多様性の保全と普及啓発 〉

- 「吉富海岸再生プロジェクト」をはじめ、吉富町の生物多様性を保全する取り組みを継続していきます。
- 自然環境に詳しい市民団体などの協力を得ながら、自然環境保全を進めます。
- 絶滅の恐れがある稀少動植物をレッドリストとして整理するなど、生物多様性の保全や地域の生き物の情報等について普及啓発を行っていきます。
- 外来生物の侵入が確認された場合、県と連携を図りつつ、適正に対応を行います。
- 人と動物(家畜、ペット、野生動物)の健康と生物多様性を含めた健全な環境を一体的に守る「ワンヘルス」の取り組みを進めていきます。
- 町内に生息している動植物について、もっと住民に知ってもらえるような取り組みについて、検討を進めていきます。

## (5) 緑化推進

---

### □ 現況

#### 〈 緑化の現状 〉

- 公園や駅前広場、町道への植樹を推進しており、一部の道路では植樹がされています。
- 住宅やその他の公共施設での積極的な緑化には至っていない現状にあります。

### □ 施策

#### 〈 公共施設の緑化と適正管理 〉

- 公園や駅前広場、町道の街路樹等について、花や維持管理を考慮した樹種の選定、緑化と適正な維持管理を推進して、緑豊かなまちなみづくりを進めます。

#### 〈 住宅周辺の緑化 〉

- 住宅周辺に緑を増やすため、住民主体で取り組む緑化活動の支援策を検討していきます。

#### 〈 商業・業務施設の緑化 〉

- 幹線道路と沿道の商業・業務施設等について、建物前面に緑化できるオープンスペースを確保するなど、緑とゆとりのある空間確保を促進します。

## (1) 住民協働

### □ 現 況

#### 〈 緑と住民参加 〉

- よしとみレディースお花づくり部や御山会をはじめとするボランティア団体など、これまで住民の皆様が主体的に緑に関する住民活動に取り組まれてきました。

### □ 施 策

#### 〈 協働による緑地の管理 〉

- 住民主体の環境美化活動の推進に向けて、鈴熊山公園や天仲寺山公園の整備、河川・道路愛護活動、吉富駅前花壇の整備など、住民と行政の協働による取り組みを継続します。

#### 〈 協働による緑化活動 〉

- ボランティアや関連団体と連携した緑化活動や清掃活動、自治会による公園管理に対する助成など、協働による緑化に対する支援策を継続し、検討を進めます。
- ボランティア参加者の高齢化に対して、若い世代も魅力を感じて参加したくなる活動内容等、多様な世代の参加を求める工夫を検討していきます。

## 4. 計画の進行管理

### (1) 計画目標

吉富町は、農地、水面、公園や広場といった水と緑に恵まれており、町域の55.9%が水と緑に覆われています。

これらの水と緑を吉富町の資産として、将来にわたって保全しつつ、適正な維持管理を継続しながら、住民一人ひとりの暮らしの中で、これまで以上に活用していくことが重要です。

このような考えから、計画目標を次のように設定します。

緑の量：現状を維持する  
緑の質：現状より向上させる

### (2) 進行管理

緑の基本計画は、計画期間が10年間と長期間の計画です。

将来の社会情勢の変化等に対応するため、概ね5年ごとに計画内容を見直していくものとします。

### (3) 今後の取り組み

緑の基本計画に示した基本方針と施策に基づいて、公園や緑地の保全、整備と維持管理を進めていきます。

## 巻末資料

### (1) 策定経過

年 月 日	内 容
令和5年2月 1日	第1回検討委員会(書面開催) ・主旨説明 ・計画(原案)の提示 ・意見の募集
令和5年3月20日	第2回検討委員会(書面開催) ・意見に対する対応方針 ・計画(案)の確認
令和5年3月24日から 令和5年3月31日まで	住民意見の募集 ・パブリックコメントの実施

### (2) 緑の基本計画策定委員会委員名簿

氏 名	所属団体等の名称及び役職
向野 倍吉	吉富町商工会 副会長
山本 タツ子	よしとみレディースお花づくり部 副会長
釘崎 周二	御山会 会長
高尾 賢二	吉富町自治会長会 会長
恒成 正幸	吉富町政策推進アドバイザー
梅津 常敏	太陽の会(山国川清掃グループ)
吉田 清勝	有識者





---

## 吉富町緑の基本計画

吉富町緑の基本計画策定 令和5年3月

発行：吉富町

---



よし とみ まち

吉富町

ひともゲンキ!まちも元気!